

題材名「パソコンを使ってまとめよう」

■ 目 標

- ・ コンピュータを使って、必要な情報を検索したり、調べた事をまとめたりする技能を身につける。
- ・ コンピュータでの作業を通じてローマ字に親しみ、覚える。

■ コンピュータを活用する利点

4年は2学期半ば頃にローマ字の学習をする。しかし、教科書では配当時間がそれほど多くなく、習熟するのに時間がかかる。そこで、興味のあることをパソコンを使って調べ、まとめていく活動を通じて、苦痛なくローマ字に親しみ、覚えていくことができる。

出来上がった文書を互いに見合い、必要に応じて訂正する。

■ 授業の流れ(全6時間)

自分の興味のある事をInternet Explorerを使って調べる。

調べて分かった事を、ジャストスマイルを使ってローマ字入力でまとめる。

出来上がった文書を互いに見合い、必要に応じて訂正する。

自分で文書を印刷して、文書の完成。

■ ICT 活用場面

今回の ICT の活用はパソコンでの情報検索と文書作成である。本授業は特に、ローマ字を覚えることに主眼を置いている。

そこで、ソフトキーボードやかな入力の使用を認めず、ローマ字入力表を用い、根気良く独力で入力させた。

また、児童がパソコンを使用している上でのトラブルが発生すると、児童のやる気を損なうので、全児童を効率よくサポートするために、Sky Menu コンピュータ支援の機能を使いトラブルに対処した。

■ 成果と課題

自分の興味のある事を調べていく事で、どの児童も意欲的に情報検索したり、文書にまとめることができていた。始めはローマ字を使うことに嫌気がさしていた子や、パソコンを使うことに苦手意識を持っていた子も、長い文章が書けるようになった。

また、添削が簡単に行えるので、できあがった文書を見直す活動の中で、段落の構成を意識しながら文書を組み立て直すこともできるようになって来た。

ローマ字の習熟に関しては、ローマ字を読む力・書く力にある程度習熟が見られた。特に読む力に関しては、スムーズに読めるようになって来た。ただし、書く方では、小さい「っ」を“xtu”と書く子もあり(例：パイナップル→×painaxtupuru)。表記の仕方とローマ字入力の仕方の違いについて混同しないように指導するにはどのようにすればよいかということが、今後の課題といえる。

■ ICT 活用環境等

使用周辺機器	コンピュータ(児童用)
使用ソフト名	Internet Explorer ジャストスマイル Sky Menu
使用教室	コンピュータ室

